

桑名市行政視察報告書

日時：平成 28 年 9 月 30 日（金） 14:30～17:00

場所：桑名市役所

目的：桑名市で行われている先進事例を学ぶ。

参加者：19 名

対応者：市長公室 政策経営課 4 名

報告者：成川正幸



スケジュール：

14:15～受付

14:30～桑名市長 歓迎あいさつ

14:45～取組み説明

内容：

1. 市長あいさつ

公民連携は行革として捉えていない。

エリア価値を高めるために民間と連携できるのか

10年前のPFIで現在、金利に苦しんでいる。

PFIはやめたほうがいい。

金利が安い



民間の人がメリットがないと公民連携は成立しない。

最近、マイカル桑名の毎日文化センター カルチャーセンターがなくなった事は重要なことである。

公務員は仕事しか見していない。

カルチャーセンターなどは公民館でやらなくても民間でやればいい。

子ども達の部活動はどうか？部活やって金メダル獲る子供がいない。

そういった事を公務員は気づかない。

社会が変わっているのを公務員は分かっていない。

それを政治家が気付けるか！



議員の仕事はそこにある。

人口構造が変わることがどういった事なのか。

小学校は、このままでいいのか？

人口減少が進むと財政が厳しくなる。

高齢者の増加で扶助費が高くなる。

そういった事を考えしっかり取り組まなければいけない。

2. 桑名市の公民連携（PPP）取組み事例

（1）桑名市の概要

- ・平成16年12月合併により新桑名市（桑名市、長島町、多度町）

人口約14万人、面積136.68km²

（2）桑名市の課題

①人口は平成29年をピークに減少すると予想されている。

②経常収支比率が平成25年度では97.8%と大変厳しい状況になっている。

※黒部市においては82.6%

③公共施設の老朽化 築31年以上は、全体の56%

※黒部市においては約50%

（3）桑名市総合計画の策定（平成27年～36年）

※黒部市においては第1次総合振興計画（平成20～29年）で、2次策定に向け進行中

桑名市の魅力と課題を精査して、まちづくりのための計画 桑名総合計画を策定。

（4）総合計画の基本理念

本物力こそ、桑名力

総合計画は、中学三年生でも分かるもの、次の世代を担う子供たちにも分かるものでなければいけない。

「難しい言葉を使わず、イラストを多く取り入れる。」

桑名市は三重大学と共同で作成した。

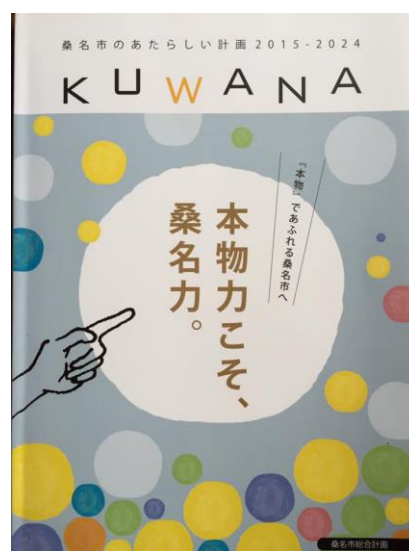
（5）新行政改革大綱

木のイラストで表現している。

ヒト・モノ・カネ、公民連携を肥料や水の補給に例え、

行政評価（総合計画の進ちょく管理）を剪定に例えている。

栄養を与える。選定する事も大事



「まちづくりビジョン」

桑名のまち（各計画）を女の子が歩きながら紹介していく。
ところどころ、専門用語になっているが、それが手作り感。

最終頁には、中高校生からの提言書を掲載している。
学生セミナーを通して中高生にも入っていただいて作成した。
10年後に加わった思い出になる。
まちづくりに参加するきっかけになる。

行政改革大綱の名称

トライアングルズ

- ・様々な立場、視点から、成功を目指しやってみる。
- ・「ヒト」「モノ」「カネ」3つの輪⇒三角形
- ・様々なアングルから物事を見て、様々な立場で考える⇒「公民連携」

（6）公民連携の取組み事例

①図書館等複合公共施設（PFI 事業）

- ・理想とのギャップを克服する事が必要
- ・公共サービス型では、大阪城が上手くいっている。
- ・建設することによってエリア価値があがるのかを検証しなければいけない。
- ・図書館は月曜日定休日、他の施設の休日と合っていない。来館すると寂しい感じに。

②ネーミングライツ

- ・やらなければゼロ、やれば少しでもお金が入ってくる。

③スマエコタウン陽だまりの丘

- ・塩付け土地をどうすればいいのか？競争入札をせずにスマートエネルギー構想をつくった。

未利用地の活用 市の保有する未利用地 売りたいけど売れない。

売れない土地でも民間だと売れるかも。

今後も整形地であっても倉庫に使えるか広く聞いて行ったら良いのかと思っている。

④電力調達方法の見直し

- ・市の指定する 11 事業を民間の方に任せられるのではないかと職員で選定し、ホームページで投げかけた。提案募集 4 件いただいた。

平成 28 年 10 月から電力調整。

⑤市民活動センターの運営支援

⑥広告付き番号案内表示システムの設置

・歳入確保額 453,600 円/年

歳入を増やしながら運営できないか。

4 面のモニター。

⑦広告付き案内地図板の設置

・歳入確保額 907,200 円/年

⑧公民連携ネーミングライツ・パートナーシップ提案制度

・規制を いまの時代にあったものに変える。

⑨公民連携広告事業提案制度（第 2 回募集）

庁舎の一括管理 庁舎の状況（清掃をどれだけ入っているか？）

診断ができた。



所見

「社会の変化に自治体職員は気づかず対応できていない。その変化に議員がどれだけ気づくことができるのか？」という市長の言葉にハッとさせられました。

そして、自治体は儲けるという考えは今まで皆無に等しい。

自分の仕事がどれだけ利益を生むのか、コストはどれだけなのかを考えながら取り組むだけで業務意識が変わり、職員の仕事の仕方を違う視点で見直せるということは本当にプラスになる。市役所全体 仕事の仕方がかわる。

行政運営が変わるのではとあらためて気づかされました。

黒部市でも行っている事もありますが、あらためて儲けるというキャッチーで言われると意識が違ってくると思いました。

また、「振興計画」の冊子の作り方。

次世代も巻き込み、誰でも分かりやすいものにしたというところが、良いと思いました。黒部市も第 2 次策定審議に入っています。よりよいものを作り上げて欲しいと願っています。

社会変化をしっかりと見極め、他を見て提案することが議員の仕事だという市長の言葉は凄く共感するところがあり、今後も進めていきたいと思います。

今回の視察は、それ以外にも多くの自治体の議員が集い、意見交換が行われ、



多くのヒントをいただきました。今後、黒部市政に活かせるように取り組んでいきます。

以上